

# シマミヤスパイラルダクトとは

## スパイラルダクトの特長

1. 自由な長さに製作できますので（定尺4m）現場加工の節減になり施工納期の短縮につながります。
2. 各種標準継手、特殊継手の製作が可能ですのでご使用状況に応じて適切な物を選べます。
3. 管厚が薄く（0.5mm～1.0mm）軽量で、高い強度をもっていますので施工費、運搬費が節約できます。
4. 内面が滑らかなので、摩擦損失が小さい。

## スパイラルダクトの製法

切断帯鋼（板巾100mm～150mm、板厚0.5mm～1.0mm）を用いて螺旋（スパイラル）状に甲はぜ掛け機械巻きしたものです。

呼称寸法は内径を基準とし、内径公差は呼称寸法に対し0～+2mmです。重ね合わせ部分（ハゼ）が強度を保ち、薄肉軽量でありながら、堅固です。

## スパイラルダクトの種類

1. 亜鉛スパイラルダクト  
溶融亜鉛メッキ鋼板（板厚0.5mm～1.0mm）を成形したもので、一般空調用・換気用ダクト及びスリーブ等に最適です。
2. ステンレススパイラルダクト  
冷間圧延ステンレス鋼板（SUS304板厚0.5mm～0.8mm）を成形したもので、耐食性に優れています。  
外部露出の煙突・煙道・塩害対策及び集合住宅等の換気用ダクトに最適です。
3. 塩ビスパイラルダクト  
ポリ塩化ビニル被覆金属板（板厚0.5mm～0.8mm）を成形したもので、耐食性に優れています。  
温水プール・塩害対策及び浴室等の換気用ダクトに最適です。
4. ガルバリウムスパイラルダクト  
ガルバリウム耐食合金（板厚0.5mm～0.8mm）を成形したもので、耐食性に優れています。  
塩害対策等に最適です。

# シマミヤスパイラルダクト

## 製品規格

### 1) 原材料規格

材料の呼称及び規格

呼 称	規 格	
	番 号	名 称
亜鉛鉄板	JIS G3302	溶融亜鉛めっき鋼板
ステンレス鋼板	JIS G4305	冷間圧延ステンレス鋼板
塩ビ被覆金属板	JIS K6744	ポリ塩化ビニル被覆金属板
ガルバリウム合金	JIS G3321	ガルバリウム耐食合金

※ 1. ポリ塩化ビニル被覆金属の下地金属は、JIS G3302溶融亜鉛めっき鋼板を使用しています。被覆樹脂の厚みは、表面（H716）0.2mm裏面（H716）0.2mmです。

※ 2. 溶融亜鉛めっき鋼板の亜鉛付着量は、180g/m<sup>2</sup>（Z18）以上です。

### 2) 形状呼び径

75φ～1000φ（75φ～600φは25mm、600φ以上は50mmピッチ）

※ 75φは亜鉛スパイラルダクトのみです。

### 3) 直管と継手部品の板厚

単位（mm）

適用板厚さ		呼 称 寸 法	
直 管	継 手	低圧ダクト	高圧1ダクト、高圧2ダクト
0.5	0.6	300以下	200以下
0.5	0.6	300を超え 400以下	—————
0.6	0.8	400を超え 700以下	200を超え 550以下
0.8	1.0	700を超え 1,000以下	550を超え 800以下
1.0	1.2	—————	800を超え 1,000以下

※ 低圧ダクトとは、常用圧力（内圧）が500Pa以下

※ 高圧1ダクトとは、常用圧力（内圧）が500Paを越え1,000Pa以下

※ 高圧2ダクトとは、常用圧力（内圧）が1,000Paを越え2,500Pa以下

### 4) 継手部品の差込み代

呼 び 径	長さ(mm)
575以下	60
575を超え1,000以下	80

### 5) ハゼのピッチ

呼 び 径	ピッチ(mm)
75～125	82
150～650	132
700～1,000	132